

愛知県蒲郡市に車輛内外装向け射出成形品の生産工場を新設

～東海圏で3拠点目となる工場設立により車輛部品事業を拡大～

積水化学工業株式会社（代表取締役社長：清水 郁輔、以下「積水化学」）の100%子会社である積水テクノ成型（代表取締役社長：山崎 潤、以下「積水テクノ成型」）は、愛知県蒲郡市に車輛内外装向け射出成形品を生産する愛知第二工場（以下、「本工場」）を新設することを決定しました。本工場には約20億円を投資し、2029年2月の稼働開始を計画、今後も必要に応じて規模を拡大していく予定です。

1. 背景・目的

国内の自動車業界では、東海圏における完成車の組み立て拠点再編と、自動車の電動化を背景とした射出成形品の統合・軽量化による部品の大型化が予想されます。このような業界変化に対応するため、愛知県内の主要な自動車生産地域に近い蒲郡市に本工場を新設することを決定しました。高機能プラスチックカンパニー（プレジデント：浅野 陽）は、戦略分野の一つであるモビリティ分野において射出成形事業を主要事業の一つと位置付けており、射出成形品の生産拠点としては、国内で4拠点目、東海圏では3拠点目となります。

なお、本工場稼働による積水テクノ成型の国内生産能力は約40%の増強を見込んでいます。

2. 愛知第二工場の概要

- 1) 所在地：愛知県蒲郡市浜町 36 （積水ナノコートテクノロジー(株)敷地内)
- 2) 規模：工場延床面積 4,350 m²
- 3) 生産品目：4 輪車輛内外装射出成形品
- 4) 稼働時期：2029 年 2 月（予定）

3. 今後の事業展開

本工場では将来的な労働人口減少を見据え、生産ラインのスマート化に取り組んでいきます。また、隣接する積水ナノコートテクノロジー株式会社（代表取締役社長：野世溪 元）は、スパッタリング技術※を有しており、積水テクノ成型との技術融合による車輛部材向け表皮加工技術の向上も見込んでいます。

※真空中でイオンを金属材料に衝突させ、その衝撃によって金属表面から原子をはじき出し、それらを別の材料の表面に堆積させて薄膜を形成する真空メッキの技術の一種。積水ナノコートテクノロジー(株)は繊維への金属スパッタリング技術に強みを持ち、基布の物性・風合い・通気性などを変えずにメタリックな外観やUVカットや遮熱などさまざまな機能を与えることが可能。

【ご参考】積水テクノ成型の概要

会社名 積水テクノ成型株式会社

代表者 山崎 潤
事業内容 射出成形品の製造・販売（車輛部品、物流・環境・土木関連製品）
設立 1962 年
資本金 2 億円（積水化学工業株式会社 100% 子会社）
本社 東京都港区虎ノ門 2 丁目 10 番 4 号
従業員 184 名（2025 年単体）
売上高 237 億円（2025 年度、海外グループ会社含む）
生産拠点（国内）

拠点名	所在地	稼働時期	生産品目
三重工場	三重県津市	2002 年	射出成形品（車輛部品）
愛知工場	愛知県豊橋市	2008 年	射出成形品（車輛部品・産業用品）
栃木工場	栃木県宇都宮市	2018 年	射出成形品（車輛部品・産業用品）

以上

＜本件についてのお問い合わせ先＞

■報道関係の皆様

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ Mail:kouhou@sekisui.com

■報道関係以外のお客様

積水テクノ成型株式会社 経営企画部 Mail:stm-press_release@sekisui.com